

# しまなみだより

第10号 2018年3月発行



春暖の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素より本学の教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。3月20日に4年生63名が本学を卒業しました。今年の卒業式は、三原市芸術文化センターポポロで行われた初めての卒業式でいつもと違った雰囲気でしたが、立派になって巣立つ姿を見るのは変わらず嬉しいものです。これからは、それぞれが選んだ道を切り開いていくことでしょう。

(看護学科広報係)



5～6月に大学の噴水を囲むように咲く金糸梅の花

## 平成29年度 国際交流事業

### キャンベラ大学の看護学生5名が本学で研修！

オーストラリア・キャンベラ大学とは平成26年度から交流を開始し、平成27年度に初めて本学の看護学生18名を派遣しました。平成28年度には看護学生2名を派遣するとともに、学術交流協定を締結しました。そして平成29年度はキャンベラ大学の看護学生5名と看護教員1名が本学で7日間の研修に参加しました。看護学科では、広島名物のお好み焼きパーティで迎え、学生によるプレゼン、お手前、基礎看護技術演習への参加、学生との交流会、ホームステイの提供を行いました。彼らは、他にも病院や地域医療の実際を見学することで日本の医療や看護を学修し、原爆跡地や原爆研究施設を訪問することで平和教育にも触れることができました。最終日のお別れの会で学生たちは修了書をもらい、本学学生によるコーラスを堪能し、ダンス部の学生と一緒にダンスを楽しみました。学生たちは「日本についてたくさん学修できました」、「皆さんのおもてなしには感謝です」、「また日本に来たいです」と感想を述べられていました。本学の学生たちにとっても刺激となり、「次はキャンベラ大学に行きたいです」という声が聞かれました。看護学科では今後も交流を継続していきたいと考えています。

(日高陵好)



歓迎会（ハッピーを着て）



本学1年生と包帯法の演習中



書道の作品を披露する学生



茶道部の学生によるお手前の説明



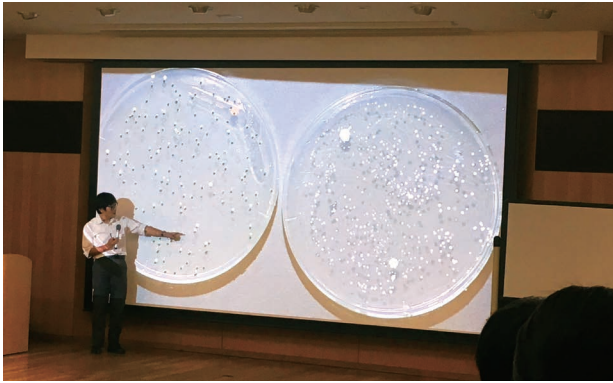
お別れ会（学生とダンスの後に）

# 1～4年生の授業紹介

## 1年生 微生物学

後期必修科目の微生物学では、看護の専門知識に欠かせない人体における病原性微生物や常在菌のみならず、非肉眼的微生物全般、ウイルス、無菌操作の基礎知識などについて学びます。さらに講義後半では、免疫の作用機序について系統立てて講義を受けます。高学年での専門講義、実習にも深く関わる内容を含んでいます。その知識は、解剖学、生理学、生化学同様、医療に関わっている限り常に頭の片隅に置いておく必要があるものばかりです。項目が多岐にわたるため、学生はしっかり自律的学修をすることが求められます。学生は大変ですが、看護師なら誰もが経験する苦勞です。

(加藤洋司)



固形培地で培養された細菌のコロニー  
(コッホによる純粋培養法の確立)



液体培地で培養された細菌  
(最小発育阻止濃度、最小殺菌濃度の測定)



## 2年生 慢性期看護論

2年生後期は科目数が多く、また、看護専門科目の内容がより高度になります。その中で、今回は慢性期看護論について紹介します。

この科目は、生涯にわたって慢性・長期的な疾患や障がいをコントロールしなければならない成人期の患者とその家族の生活の再構築を促す看護について学修することを目標としています。糖尿病や慢性腎臓病、慢性心不全などの慢性病をもつ人が、病いと共にある生活に自分なりに適応できるよう支援する方法や、がんサバイバーががんと共に自分らしく生きられるよう支援する方法を学んでいます。一方向的な講義形式をなるべく減らし、TBL（チーム基盤型学習）や協同学習など、学生が相互に協力し合い、自己の学修に責任を持って主体的に取り組めるような授業形態を積極的に導入しています。また、事例を用いてグループでディスカッションすることで、学んだ知識を応用し看護実践で活用する力を身に付けられるように工夫しています。

(黒田寿美恵)



事例に対してどのように看護すればよいか  
グループでディスカッションしています



事例に対する看護援助の方向性についてラベルワークで整理したものを  
自由に見て回り、学びを共有しています

## 3年生 老年看護実習

3年の後期になると老年看護学，成人看護学，母性看護学の臨地実習が始まります。臨地実習は，これまで学んだ看護に関する様々な知識と技術を実践する場です。

老年看護実習では，社会の中で老いて生きる人々の多様性を理解し，高齢者の健康と生活を支えるための看護を学びます。実習施設の一つである尾道市御調町の公立みつぎ総合病院では，実習指導者や教員から助言を受けながら，健康障がいのある高齢者の看護を行います。高齢者と関わることが少ない学生も多いため戸惑いながら実習している学生もいますが，人生の先輩である高齢者の温かさに触れながら日々成長しています。その他，介護老人保健施設みつぎの苑やグループホーム「かえで」などでも実習を行い，高齢者の多様な生活の場とそこで行われている看護や看護師の役割などについても学修します。限られた期間に多くのことを学ぶ必要がありますが，学生は生き生きと実習をしています。

(山中道代)



実習初日に指導者さんから病棟内の説明を受けて実習に臨みます



認知症の方が共同生活しているグループホーム「かえで」での実習で，認知症についての理解を深めます

## 4年生 平成29年度看護学科卒業研究報告会

平成29年12月19日に「平成29年度看護学科卒業研究報告会」を開催しました。4年生は担当教員の指導のもと1人1題の卒業研究課題を決め，それぞれの課題に沿った研究手法を用いてデータ収集，分析を行い論文作成しました。研究を進めていくにあたり，病院や施設のスタッフ，関係する専門家の方々からも多くのご協力，ご助言をいただき看護の知見をまとめることができました。

4年生は臨地実習や講義，就職活動や国家試験の勉強，最後の学園祭等とても忙しい時間の中での卒業研究となりましたが，最後まで情熱をもってやり遂げる力はさすが県立広島大学の学生です。出来上がった論文集の重みを感じる度に，学生と共に研究した時間を思い出し嬉しくなります。

報告会で発表した内容を「卒業研究論文集」としてまとめ，4年生に配布しています。ご家族の皆様も，是非ご覧になってください。

(三宅由希子，木村幸生)



1人1人パワーポイントを作成して発表しました



総会も行いました



卒業研究報告会終了後の集合写真です



在宅看護学担当教員の岡田麻里です。私は、学部では主に在宅看護論と在宅看護実習、大学院では在宅ケア特論を担当しています。また、県内のフィールドワークをする「地域の理解」、多職種チームアプローチを学ぶ「チーム医療福祉演習」等も担当しています。少子高齢化が進む中で、地域包括ケアシステムづくりに貢献できる人材育成が求められています。たとえ病気や障がいがあっても、住み慣れた地域で自分の望みを実現し、安らかに逝くことに、私自身が寄り添える看護職でありたいと願うと同時に、そんな看護職を育てていきたいです。昨年着任された『がん専門看護師の安田千香先生（助教）』と協力して、今後も地域とのつながりを強めながら、実践・教育・研究に取り組んでいきたいと考えています。

地域で活動している当事者の会やボランティア・グループ、地域のサロンとのネットワーク創りも大切にしています。学生ボランティアをしたい方は是非、一緒に参加しましょう！



劇団しましまでプレイバック・シアターにも挑戦中



## 就職座談会

3年生後期になると、少しずつ、就職に向けた活動が始まります。看護学科では、学生への就職対策の一つとして、毎年12月に「看護学科3年生と4年生の就職座談会」を開催しています。就職や進学が決定した4年生の体験談を気軽に聞けるように、就職先や進学先ごとの小グループに分かれ、お茶を飲みながら話をします。参加した4年生からは「一生懸命な3年生を見て、1年前の自分を思い出さ。あっという間の1年だった。これからも頑張らないといけなかった。」という感想が聞かれ、3年生からは「まずは自分がやりたい分野を見つけて就職先を決めていこうと思えた。合同説明会やインターンシップなど、積極的に参加していきたい。」という感想が聞かれました。この時期は、希望する就職先を決めている学生ばかりではありません。しかし4年生の体験談を聞くことで、就職に向けて何をやるかが具体的になり、就職活動へのモチベーションが高まるようです。



4年生のアドバイスに3年生は真剣に耳を傾けています

4年生での就職活動は、臨地実習と卒業研究、さらに国家試験の勉強が並行するようになります。とても忙しくなりますので、計画的に就職活動をすすめ、第一希望先に就職、進学できるように、新4年生にはぜひ頑張ってもらいたいです。

(渡辺陽子)

看護学科「学生生活通信」についてご意見、ご感想などお寄せ下さい。

〒723-0053 広島県三原市学園町1-1  
TEL:0848-60-1120 (代表) FAX:0848-60-1134 (代表)  
E-mail:nskouhou@pu-hiroshima.ac.jp  
URL: <http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/nursinq/>  
発行: 県立広島大学保健福祉学部看護学科 広報係



県立広島大学  
Prefectural University of Hiroshima



※保健師課程卒業後の養護教諭二種免許状の取得について  
報道発表にありましたように、ガイダンスにおいて保健師免許を基礎資格とする養護教諭二種免許状の取得に必要な科目に関する説明に不備がありましたことお詫び申し上げます。  
今後は、免許取得に関して、単位修得の確認体制を徹底し対応していきます。